



サイジヤナル

月刊
26-5・6
第415号

日本サイ科学会 平成 26 年 5 月 1 日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1アサビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908-FAX 022 (274) 0097	中 部 〒503-0981 大垣市松町1290 山 田 哲 三 ☎ FAX 0584 (91) 1192	北 陸 〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究所内 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634	関 西 〒659-0011 芦屋市六麓荘町 (事務局) 9-39 木 村 のり子 ☎ FAX 0797 (22) 6425	九 州 〒862-0976 熊本市九品寺 1-9-7 金 子 輝 夫
---	--	--	--	--

五月本部例会のお知らせ

般若心経とサイ科学

講師 岩根 和郎氏

今回の講演では、拙著「暗号は解読された 般若心経」(献文舎)を中心として、サイ科学との関係にまで言及します。拙著は「般若心経は暗号である」との立場から、深い瞑想により、現代用語によって読み解いたものです。

暗号であるが故に、決して情緒的には書かれて居らず、数学のよりに極めて論理的に緻密に書かれており、262文字に無駄な文字は一つも無く、まったく矛盾無く、見事な全体の整合性を保って読み解くことが出来ました。

解釈の要となる「空」は実体そのものであり、それが人間の精神性の本質と同一となります。さらに生命活動を営む環境としての「空相」が用意され、そこは時間空間を超越し、善悪を超越した絶対価値体系であり、諸行無常の存在の背後にあって、変化変容を超越した存在であることが分かります。

現象の世界は「非実在の世界」であり、空である「実在の世界」とは明確に分離されております。これにより「宇宙モデル」を示し、そこにサイ科学との接点を示したいと思えます。

※「般若心経」を暗号と考え、深く研究した画期的な書籍の内容を、詳しく解説していただく貴重な機会ですので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加願います。

●岩根和郎氏のプロフィール

昭和十八年(1943年)二月四日 宮城県仙台市生まれ。

大学では物理学を専攻。国立研究機関において、「視覚」「認識」という医学・工学のフロンティア領域の研究に従事。退官後は「人工知能」と「Web上のパラレル・ワールド」を実現すべく起業し現在に至る。科学者でありながら、古今東西の哲学、思想、宗教、歴史に精通するとともに精神宇宙を深く探求・解明された希有なる「文化家」。市井に身を置き企業経営者・家庭人として、徹底して「現実主義」を貫いている。

六月通常総会出欠葉書のご返送のお願い

※来る六月通常総会のための、賛助会員、維持会員、正会員に対する「出欠用」と欠席者のための「委任状」を兼ねたハガキが今回同封されておりますので、必ず6月3日までにご投函願います。(忘れないうちにお早めにお願致します。)

今月号の記事

- ◎五月本部例会のお知らせ
- ◎御寄付御礼
- ◎関西サイ科学会五月例会予告
- ◎関西サイ科学会六月例会予告
- ◎関西サイ科学会七月例会予告
- ◎第24回全国大会研究発表募集
- ◎六月通常総会・本部例会予告
- ◎七月本部例会のお知らせ
- ◎第22回宇宙生命研究分科会予告
- ◎平成25年4月本部例会報告
- ◎第三八四回関西サイ科学会報告
- ◎第三八五回関西サイ科学会報告
- ◎「オーブ」の撮影とその性質
- ◎霊姿現象について

日時 平成26年5月10日(土)

午後1時半～5時

会場 北とびあ9階901会議室
交通 J R京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円



「心を科学する博物館」と
一般の御寄付御礼
(4/10受領分まで)

- 金六万円也 木村 陽一 様
- 金三万円也 佐藤千恵子 様
- 金二万円也 森安 政仁 様
- 金二万円也 鴨川 裕司 様
- 金一万一千円也 浪平 博人 様
- 金一万一千円也 屋敷 益男 様
- 金一万一千円也 原口 和恵 様
- 金一万円也 久保千壽子 様
- 金一万円也 増本 勝久 様
- 金五千円也 宮前 昭子 様
- 金三千円也 福光 康彦 様
- 金一千円也 久保田昌治 様

金一千円也

金一千円也

金一千円也

金一千円也

金一千円也

金一千円也

金一千円也

金一千円也

金一千円也

金一千円也

金一千円也

- 小林 信正 様
- 飛田 洋子 様
- 佐藤ひろ子 様
- 濱田 敏博 様
- 奥村 八郎 様
- 山田 真理 様
- 今田 恵子 様
- 岩谷 好子 様
- 友寄 光子 様
- 寺嶋 崇恵 様
- 青木 保夫 様
- 片山 政記 様
- 中野 俊子 様



関西日本サイ科学会
五月例会のお知らせ

気で読みとる鬱積感情、
霊障とその治療

講師 橋本 和哉氏

日時 平成26年5月17日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター

六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 韮公園内

会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで



関西日本サイ科学会
六月例会のお知らせ

よみがえるやまと・古事記
以前の日本

講師 平岡 憲人氏

日時 平成26年6月21日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター

六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 韮公園内

会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで



関西日本サイ科学会
七月例会のお知らせ

放射能分解理論の発見と可
能技術の数々

講師 高尾 征治氏

日時 平成26年7月19日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター

七〇一号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 韮公園内

会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで



平成26年日本サイ科学会
第24回全国大会発表募集

毎年重要な行事である全国大会が、今年も10月に北とびあにて開催されます。会員の研究発表+シンポジウム(テーマは「サイと

天変地異」が予定されておりませんが、会員の皆様には積極的な発表ご参加を期待しております。

会員の研究発表では、テーマは天変地異に関してなくてもOKであり、これまでの研究での新しい発見、現在もしくは近いうちにデータ取りをしてまとめたいこと、偶発現象(UFO、心靈現象等)の目撃と原因の推測・解明、様々なサイ現象の仮説(理論)など「サイ」に関連することなら何でも結構ですので、ご自分の考えや研究成果をまとめて、発表して頂きたいと存じます。

研究発表の予稿集原稿は、後日今年度の論文集「サイ科学」にも掲載されます。

7月末までにタイトルと簡単な内容(200字くらい)をメール、またはFAX、ハガキでお送りいただき、一応審査させていただきます、通りましたら8月31日までに原稿ファイルをメール添付等で戴きたいと思えます。原稿の書式は後でお知らせ致します。

六月通常総会・本部例会予告

※午後一時半から30分の通常総会後、講演会があります。

六月本部例会のお知らせ

気超科学と宇宙生命哲学 新病気学

講師 秦 西平氏

秦西平師は天与の才能と超人的な努力で、少林寺気功を究めましたが、このことは、同時に座禅・瞑想を主軸とする禅宗も修したことを意味します。その他、老子の道教、周易、孔子の儒教を学び、中医(東洋医学)を研鑽し、現代科学も身に付けられました。気功の実践を通じて得られた現象・事実は、現代科学の範疇では説明不可能であることから、「超科学」を提唱し、目には見えない世界を科学的に説明する、「九次元宇宙模型と陰性物質学」を編み出しました。また、内気功・外気功によって、人体・生命が調和を取り戻し、健康になることも、現代医学の範疇

では説明がつかないことから、中医学を踏まえながらも、それを超えた宇宙生命哲学ともいふべき「新病気学」を提唱されました。

師の理念の根本原則は、

『人の発する「気」の正体は、「意識」であると同時に、「物質」である。電磁波の様に「場」を持ち、「周波数」と「情報」を持った「人間の生命エネルギー」であり、「具体的内容」と「方向性」を持ち、特殊な「物理的効能」を持った、特殊な物質である」ということである。そして、『意識は6層の多層次構造をなしており、「人体」と「意識」と「宇宙」は「全息(ぜんそく)律(りつ)』(部分に全体の情報が含まれている関係)』に対応している』

※中国から日本に來られたトップクラスの気功師の講演会です。で、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加願います。

●秦西平氏プロフィール

1958年中国西安生まれ。千五百年前、禅宗の開祖、達磨大師が面壁9年の座禅を行した名刹、嵩山(すうざん)少林寺で、長

年の想像を絶する修行を継続し28日間の断食、「二〇〇日大閉関(だいひかん)」を達成。若干22歳で第34代最高師範となる。

少林寺武術(硬気功)の達人であり、自身を健康にする内気功はもちろん、他人の病を、直にまたは遠隔で治す(外気功)の達人でもある。中国国家主任中醫師、東洋医学博士でもあり、一方で、西安理工大学出身でもあり、省と市から4つの科学賞を授与され、熱処理学会の副会長を務めた。

1993年中国政府派遣の国費研究員として二度目の来日、東京大学工学部セラミックス研究室で研究。高級工程師資格(教授相当技師)。2000年世界初の気功麻醉による抜歯手術(寺川國秀歯学博士執刀)に成功。医学界・気功界の双方から注目される。全日本少林寺気功協会会長。西安体育大学客員教授。3回の世界気功養生中医学武道総合大会を主催。「少林寺気功理論」など6冊の本を出版する。

日時 平成26年6月8日(日)

午後1時半～2時 通常総会
午後2時～5時 講演

会場 北とびあ9階901会議室
交通 J R京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

七月本部例会のお知らせ

※二月本部例会が大雪のため中止となりましたので、同じ講師・同じ内容で、七月に開催されます。

ラップ現象の究明

ラップとの関連性について

講師 小林 信正氏

(特異能力研究所代表)

日本サイ科学会理事)

何も存在しないと思われる空間から、物を叩く音が発生する現象をラップ音(r a p 叩音)と呼び、昔から霊魂が出現するときの音で

心霊現象の一つだといわれてきました。また海外ではポルターガイスト現象だという説もあります。しかし、未だにその音の発生原因は不明であり、正体は定かではありません。

ラップ音にはさまざまな種類があり、割り箸が折れるような音、ハンマーで物体を叩いているような音、ドアをノックする音、足音など多岐にわたっています。

日々、これらラップ音に怯えるさまざまな住人達の訴えにより、テレビ番組の制作を兼ねて、現場に特殊な撮影機器及び物理的測定機器を準備して調査、徹底観測、撮影を敢行しました。

想定される原因の仮説としてしては、①人工電磁波説、②ウォーターハンマー現象説、③建築建材工法説、④低周波による振動、共鳴説、⑤ポルターガイスト現象説、⑥オーブによる心霊現象説、等々。建築家や音響専門家たちに現場の立ち会いを依頼し、家屋の構造調査や建材等の音響実験、音源の分析等による検証を試行しました。さらに住人の心理状態の意識調査も行いました。

検証の結果、ラップ音の発生に

はオーブが介在して霊的な可能性が大であり、しかもオーブが何らかの意思をもっているように考えられます。

百聞は一見に如かず、ラップ現象が頻発しているいくつかの現場の実態をビデオで収録しましたので、その映像をご覧いただきながら、考察を加えたいと思います。また、土地には良し悪しがあり、住居には避けたい土地に関してもお話しできればと思います。

※長年東京キー局のチーフプロデューサーとして、心霊現象や能力者に関して科学的検証も含めた多くの番組を制作してこられた講師なので、興味深いお話が沢山紹介されると思います。会員の皆様はご友人・知人をお誘いしてご参加願います。

●小林信正氏のプロフィール

1938年2月、東京生まれ。東京写真大(現東京工芸大)卒業、慶応大で哲学、心理学を専攻。TV局勤務、チーフプロデューサー、部長として多数の番組制作に永年携わる。定年退職後、TV制作会社の代表取締役として多数の

放送番組やイベントなどを制作。大学や企業研修の講師なども務め、特異能力研究会を主宰して意識とサイの研究を行っています。新著に神社仏閣50選「ご利益さま」縁結び編。

日時 平成26年7月12日(土)

午後1時半～5時

会場 北とびあ7階701会議室
交通 J R京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

第22回宇宙生命研究分科会予告

第8回 UFO・ORBシンポジウム

テーマ 第2コペルニクス革命

「地球人一人ぼっち説」から

「宇宙人てんこ盛り説」へ

コペルニクス革命は天動説から地動説への転換にあった!

現在進行形の第2コペルニクス革命とは「地球人一人ぼっち説」から「宇宙人てんこ盛り説」への転換である。ハッブル宇宙望遠鏡、ケプラー宇宙望遠鏡等の発見の数々はこの宇宙にはたくさんさんの銀河があり、たくさんさんの地球型惑星が存在することを示しているのだ。ゾルダノー・ブルーノの復権!? 最新のUFO・オーブ情報を紹介し、さて、第2コペルニクス革命を論じましょうか!?

日時 平成26年7月21日(月)

10時~17時30分

会場 品川健康センター会議室

品川区北品川3・11・22

03・5782・8507

交通 京浜急行新馬場駅徒歩2分

JR京浜東北線大井町駅東口から東急バス「渋谷駅」行で「新馬場駅前」下車

一般会費 一〇〇〇円

会員会費 五〇〇円(日本サイ

科学会・サトルエネルギー学会・太陽の会会員)

※会費(会員・非会員)が変更になりました! 宜しく願います。(世話人 阿久津 淳)

平成25年4月本部例会報告

宇宙図書館(アカシックレコード)から見た世界の仕組みと私たち
—あなたは誰なのか—

講師 大野 百合子氏

今日は、「アカシックレコード」というものから見た私たち人間存在とは何か?」とか、「宇宙はどういう仕組みになっているのか?」とか、そんなお話を前半させていたから、後半は実際に皆さんで呼吸法をやった後、「ブック・オブ・ライフ」といまして、ご自身のアカシックレコード、すなわち過去世に行っていたかどうかについてお話をします。私は20年前に初めてアメリカ人のゲリー・ポーター氏に会うまで、「アカシックレコード」の「ア

カ」も知りませんでした。私も最初は「アカシックレコード」について懐疑的でしたが、ゲリー・ポーター氏の講演会などの通訳をしながら、びっくりするようなことを体験して、信じるようになりました。個人セッションで参加者がいろいろ質問をしたときに、ゲリー・ポーター氏はその人の過去世や未来のことなど、本人は何も言っていないのに、ズバズバと明確に答えられるのです。



ゲリー・ポーター氏の情報の確かさと、彼の解答によって、相談者の人生が楽になるのを目の辺りにして、アカシックレコードの存在について、次第に信じるように

なりました。

アカシックレコードとは何か? という質問に対して、今は説明しやすいのですが、アカシックレコードはインターネットのようなものとも言えます。宇宙の図書館、情報の貯蔵庫みたいなもので、5次元、6次元あたりにあります、一種のクラウド、すなわち巨大なデータバンクだと思ってください。今はスマホでインターネットからあらゆる情報を得られますが、それと同じことを実は私たち人間の意識もやっています、皆さん一人一人がコンピュータの端末そのものです。そして、今日やった事、そのやった事に関してどんな感情、どんな思いをもったかについて、すべてアカシックレコードに記録され、必要とあれば自分の情報だけでなく、他の人の情報も読めます。

みなさんはアカシックレコードを読めていないと思うかもしれませんが、実は全員が読めており、ただそれは無意識に読んでるので気付きませんが、「アカシックレコードを読む」というのは、意識的に顕在意識であの人のこういう情報を得ようというって、アクセ

スして、そのクラウドのデータバンク、すなわちアカシックレコードから情報を得られるというのが「アカシック・リーディング」です。皆さんは夜見る夢の中でアカシックレコードを読んでいます。夢の中でもいろいろな種類がありますが、起承転結がはっきりしているのに時代が今ではない、という夢は、ほとんどの場合、過去世の記録を見たこととなります。

※ここで前世療法、退行療法の短い実験を実施しました。

「目をつむって鼻から息を吸って、口から息を出してください。」
 「そのときの思いは純粹な気を吸い込んで、そして体の中の疲れや緊張を吐きだします。」×3回。

「目の前にドアがあります。」
 「ドアの形状をしつかり見て、ドアを開けて部屋の中に入ります。」
 「ドアは手前に引きますか、向こうに押ししますか？」

「部屋の中に入ったら、中に椅子があると思ってください。」

「それはどんな椅子でしょう?」
 「次第に部屋の様子を感じ始めます。部屋の中にあると思う物を思

い描いてください。」

こんな感じで退行催眠をやりますが、部屋の中にあつた椅子が何か今回の人生で出会つたことのない方が大部分だと思えますが、それはご自身の過去世に入っているのです。と言うように私たちは簡単にアカシックレコードに出たり入ったりしています。

アカシックレコードには集合的無意識にあたる国民、部族から、個人の一人一人の魂と肉体の旅の出来事とそのときの反応まで全部記録されます。それとビッグバンの後の宇宙の歴史まで神秘的なアプローチではありますが、情報を得ることができません。

アカシックレコードから見た私たちはどういう存在なのか?

アカシックレコードによりますと、ビッグバンにより宇宙が生まれたとき、2種類の形態が生まれました。大元は1つであつて、そこから陰陽の2種類のエネルギーに分かれたとなっております。

大元のエネルギーは「エーテル

プラズマ物質」とか「非物質物質」英語で言いますと、「non-matter matter」と呼ばれるエネルギーで、すべてができていて、というのがアカシックレコードの情報です。

物理学の「超ひも理論」の超ひもにあたるものが「エーテルプラズマ物質」であつて、それは物質ではなくて、質量もない大元のエネルギーになります。「ダークマター」「ダークエネルギー」にもあたるもので、「エーテルプラズマ物質」は大きさが様々あつて、その一つの単位は太陽系くらいの巨大なレベルのものもありますし、素粒子レベルの微小なものもあります。

ビッグバンで生まれた2つの物質のうちの1つは魂のエネルギー、1つは進化する物質のエネルギーになったのですが、中国の太極図によりますと、魂のほうは陽のエネルギー、進化する物質のほうは陰のエネルギーとなります。



魂の方は永遠不滅で一貫しています。皆さんお一人お一人の中にその魂のエネルギーが宿つている、それを宗教的に言いますと、神道

でいう分け御魂、仏教でいうところの仏性、キリスト教ではキリスト意識と呼ばれています。

もう一つの進化する物質のエネルギーは、手を摩擦して気を感じる状態にして、例えばホワイトボードに近づけるとホワイトボードの手前で抵抗を感じる場所があり、それがエーテル体のエネルギーであつて、それも進化する物質のエネルギーに入ります。

アカシックレコードでは、魂のほうを「トライアード」、進化する物質のほうを「ダイアード」とゲリー・ボーンネル氏が名付けました。「トライ」は3を意味し、「意識」と「エネルギー」と「聖なる衝動 (divine urge)」でできているのが魂のエネルギー、「ダイ」は2を意味し、「身体 (物質)」と「進化し種を保存するエネルギー」でできているのが進化する物質のエネルギーとなります。

アカシックレコードでは、人間というのには魂のエネルギーが地球にやってきて、進化する肉体に宿つた存在だと理解します。「聖なる衝動」とは、一種のカーナビシステムのようなもので、「自宅に帰

る」と設定すると車は自宅に帰るようにガイドされますが、それと同様に魂は源を知っていて、自分が一番先に生まれた大元を知っていて、そこに必ず戻るので。どんな酷いことをした人間でさえも内側には永遠不滅の魂が宿り、その魂はかつての源に戻ることを知っているのです。

アカシックレコードによりまずと、私たち人類はどこから来たかと申しますと、宇宙から似たもの同士がソウルグループとして地球にやってきて、地球体験を観察するために地球に入ります。始めは12個の魂が地球の周りにネットワークを造ります。(写真の手に持っているモデル↓開くと大きな球体モデルとなる。)一人一人は12個のゲートウェイの内の好きなゲートから入ります。

地球の中に入り肉体に宿った後あまりにも地球体験が魅力的だと元に戻れなくなるので、地球に入るときに似た魂同士が男性性、女性性のペアを造ります(ツイソウル)。魂は元々男性性、女性性はないので、役割として、男性性、女性性ができます。

話は変わりますが、2012年の冬至から集合意識が変わっていくとアカシックレコードには書かれています。集合意識がこの時期から分離から統合に、二元から一元に変わって行きます。皆さんはそういう大事な時代に生きておられますので、肉体を大事にしてください。

アカシックレコードでは、「魂の意識は同時存在時間を生きる。」と説明します。ここが難しいところなのですが、同時存在時間というのは、過去から未来への直線時間にはなっていないということ。それは全地球の全転生が(写真の)モデルのようなもので、例えばある人が地球上で8回の転生をする人があります。魂の成長のためそれぞれの人生で避けられない出来事も設定します。またそれぞれが似た人生ではなく、いろいろな人生を設定します。

アカシックレコードで人間の構造を説明しますと、我々人間は、永遠不滅の魂のエネルギー「トライアード」(象徴は逆三角形)が、地球生まれの肉体のエネルギー「ダ

イアード」(象徴は三角形)とドッキングして(象徴として、2つの三角形が上下の位置で一部重なる)、成立してきます。それぞれが輪廻転生していきます。地球上で進化した肉体(「ダイアード」も動物の段階から人間まで進化していく段階で、大いなる智慧をもっています)。

肉体は同じ血族の中で生まれ変わります。例えば私の肉体は母方の祖母の生まれ変わりで、魂の方の直前の生は、ボストン辺りに住んでいたアメリカ人です。だから面白いのは、今生で私はボストンの近郊に留学しております。だからすべての事象はこのモデルのようにつながっております。

魂は魂で生まれ変わり、肉体の方はご先祖様の系列で生まれ変わるの、アカシックレコードからみた人間存在です。そのように私たちの存在は転生も複雑に絡み合った広大な情報の塊です。ですからお一人お一人が宇宙である、という言い方をします。

輪廻転生は様々な形態があるので、3つの魂が合体して一人の人間に入る場合もありますし、

一つの魂が分魂となって同時代に別々の人間に生まれ変わる場合もあります。特に集合的な魂は、何か集合意識に大きな事を起こすような影響力のある方のケースが多いうです。

本当に面白いのですが、宇宙はすべてフラクタル、すなわち相似形の構造になっており、宇宙が陽のエネルギーと陰のエネルギーで出来ているように、人間も陽のエネルギーと陰のエネルギーが一つになって出来ています。父性と母性も陽のエネルギーと陰のエネルギーの象徴となります。

人間は生後7年間は保護してもらわれないと生きていけないので、肉体意識(「ダイアード」が優位に立ちます。その結果、親にどうしたら受け入れてもらえるかが生き残りの最大のポイントとなるので、自分の気持ちはこうだけど、親の言うことを仕方がなく聞く、親の期待に応えようと、世間に受け入れてもらえるよう社会意識が生まれます。人間は本当は広大な創造主と同じ宇宙の魂なのだけれども、最初は肉体意識が主導

権を握ってしまおうのです。

例えば自分の意見をぱっと言ってしまうと、父親からすごく怒られた子供は、自分の本当に思ったことを言っただけじゃないんだ、ということであって、黙ってしまおうという戦略を作ったとしたら、その戦略を顕在意識にすっかり浮かび上がらせない限りは、ずっとそのパターンにはまったまま、六十歳になっても七十歳になっても自分の意見を人に言ったら生き残れないという思いで生きることになります。そうなるとなかなか陰と陽が統合した形になりません。

陰と陽が統合された状態というのは、「トライアード」の逆三角形と「ダイアード」の三角形の中心が一致した六芒星が形成されます。

他の例としては、画家になりたかと思っても、親から画家なんかでは食べていけないから止めなさいと言われて、渋々画家を諦めた人間は、自分のハートの想いがブロックされて、魂と肉体の重なった部分に壁をつくってしまい、天からのエネルギーが大地に降りてこないのです。これが私たちほとんどの人間の生き方です。

これからは生後7年間で形成されたどうしたら生き残れるかというパターンで生きるのはなく、自分がどう自分を表現していきたいのか、自分が一番大切にしているものは何かということに大事にしながら生きていく時代が、2012年の冬至以降に始まりました。ですからアカシックレコードによりますと今までは二元の世界、陰と陽、肉体と魂がバラバラでそれぞれがそれぞれを体験するという時代から、いよいよ陰と陽が統合していくというユニティの時代に、2013年以降入ってきました。

現代は内側と外側がどんどん融合していっていますね。だから、企業もどんどん統合していっていきますし、インターネットの発達により情報統制が効かなくなっていますし、私たちの潜在意識(肉体意識)と顕在意識(魂の意識)が乖離していたものが、潜在意識が我慢できなくなつて爆発して、顕在意識と統合して二元の世界が一元の世界になっていきます。

これから皆さんはいつでもアカシックレコードという大きなクラウドとつながっているコンピュー

タの端末であることが分かるようになってきますし、そうすると思っていることが現実化することが早くなります。

家族や周囲の人間との確執もそういうことを自覚することにより、自分が寛容になることで、人生のテーマをクリアにしていきたい意識が拡大して、陰と陽が統合されていく方向になるでしょう。

※後半は講師の指導のもと、参加者全員でアカシックレコードへの誘導瞑想を実践しました。

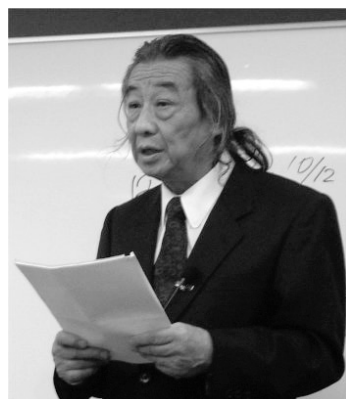
今回から本部例会講演のハイビジョンレベルの録画をUSBメモリーで頒布しておりますので、すべて視聴したい方は御注文願います。詳細は前号の「サイジヤナル」か公式サイトを参照願います。

第三百八十四回関西日本サイ科学会研究集会報告

出口王仁三郎の黄金鏡

講師 櫻井 喜美夫氏

とき 平成26年1月18日
ところ 大阪科学技術センター



櫻井氏は1947年愛知県生まれ。発明光房代表。霊能師・シリウスチャネラー・発明家。出口王仁三郎聖師の霊統を引き継いだ霊能師として、全国で成仏や場を清める儀式を始める。30代からは大本裏神業の追体験を始め、同時に電磁波や不成仏霊などの波動から身を守り、正常な波動に整える製品の開発に力を入れ、オリジナルのエネルギーグッズを開発。なかでも鉱石キミオライトは強力なテラヘルツ波を発する。著書『出口王仁三郎の遺言』『出口王仁三郎の大復活』(いずれも太陽出版)。
櫻井氏は大病の中で宇宙の根源(COU)と繋がることのできた。

そうなるかと現界で生きていくうえで多くの幸せにめぐりあえる。日本人は(COU)と繋がりがやすい。今回の著書「出口王仁三郎の黄金鏡」では宇宙の根源(COU)と繋がる方法に迫る。

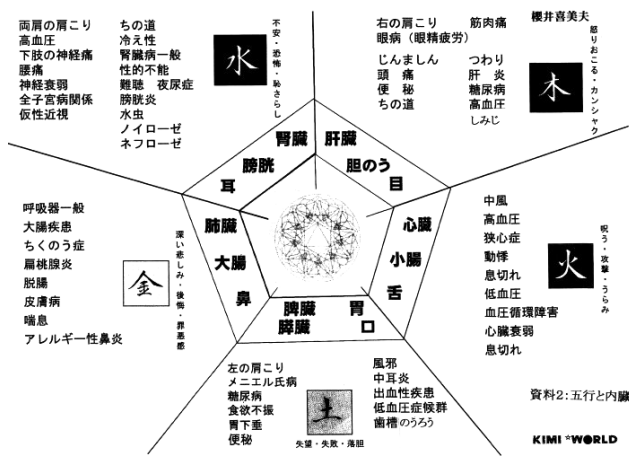
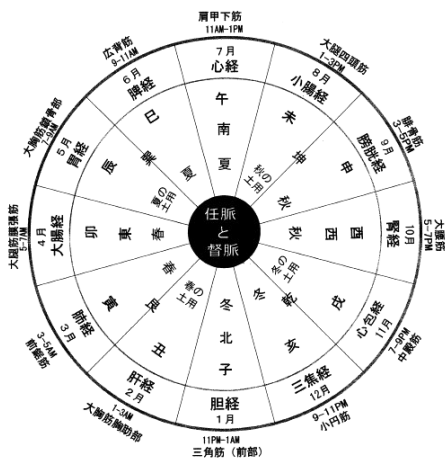
60兆の細胞が喜ぶ魂の生き方

7つの幸福、「有難う」はメッセージです。

1. 頭―頭脳・記憶・顕在意識
2. 心―善悪の判断・潜在意識
3. 魂―霊性・靈魂・深層意識
4. 体―五体・全細胞
5. 家―家族・血統・先祖
6. 財―お金・財力
7. 友―周囲の人々(学校、社会)

・私達ほどの様に魂を磨いて7つの幸福に近づく事が出来るか？
 ・日本の神様の原点は、神様の出生の時期は？
 ・先人が想像した神々と私の見たC・O・U(セクターオブユニバース)
 ・すぐに現実化できる奇跡の祈り、シューマン波共鳴とは？

資料1 14経絡の時計図
 資料2 五行と内臓



資料2: 五行と内臓

KIMI WORLD

私達は先祖から幸福、不幸の遺伝子を連綿と受け継いでいる。

死亡すると魂は何処へ帰るのでしようか？

死亡後、魂がさ迷うと浮遊霊や地縛霊となる。

赤血球のヘモグロビンが先祖の記憶を持っているだろうか？

幸福になる人、不幸になる人は何が違うのだろうか？

手っ取り早く 幸福になる為の方法はあるのだろうか？

川上清ければ、川下清し。

陰陽五行は7つの星から受けているエネルギー

(7光線の虹、7つのチャクラ、7つのボディオーラ、地球のオーラ、7つの音階、七曜日、七草粥、秋の七草)

テラヘルツは生命光線です。生命光線と呼ばれているテラヘルツ光線は、全ての生物、鉱物すなわち原子を持つ物質から放出されています。自然界の物が放射、吸収している波長、分子から発する振動の根幹をなすもので、生命エネルギーと呼ばれるています。生物界においては、新鮮で健康

であるものほどテラヘルツ波を多く放出していて、不健康な人や老人では反対になっています。

自然界のテラヘルツ光線が出ている鉱石を身近に置くと、怪我や傷が早く治る実例が多く報告されています。テラヘルツ光線を当てると細胞の分子構造が整えられ、健康も向上しアンチエイジングに良いと言われています。

テラヘルツ光線を有効に使うと30%若返ると言う報告が業界紙の記事にありました。

自然界のあらゆるものから大なり小なり放出しているテラヘルツ光線は「光と電波の中間域」で、月の光である為いくら浴びても人体に対して害がありません。

星や月から放出される波長域は、テラヘルツ光線と言われ特にテラ波動の強い時期は新月です。人体の内臓は全て月光の影響を受けている為、肝臓、腎臓、脾臓、大腸、膀胱、胃、肺、骨、等の文字は月偏が付きます。

分子と分子を繋ぐことで、新たな物質や生命を作りだせる可能性があり、地球上での生命の進化や誕生に関連して、その波長が生命誕生に関わったという科学者がい

ます。

不安なく安心して成仏できる魂は生まれて来た故郷に速やかに帰る事が出来ます。帰れない地縛霊・浮遊霊は成仏する為に供養や慰霊祭、お祭りが必要です。プラズマの魂はテラヘルツの月光や星の光に同調して宇宙故郷へ還ります。

出口王仁三郎の黄金鏡より

私には全てを可能にする力が有ります。私の夢は叶えられます。願望は必ず達成できます。

私にはそれだけの底力とミラクルパワーが有ります。今、私の偉大な内なる自分の力に気付きました。偉大なる光の力は六十兆の全細胞に備わっています。

チルチルミチルの青い鳥は世界中探しても見つかりません。青い鳥は自分の内なる光の力の中に住んでいます。

自分の目標を具体的に設定し、目標達成のプログラムを作り毎日行動する事です。

私の目標や願望は必ず達成できます。奇跡はすぐそこまでやって来ています。

☆

☆

大事なことは宇宙の根源(COU)に繋がることであり、その底力は自分の細胞の中にあるということである。

当日の参加者は会員19名、非会員37名、学生2名、合計58名であった。今回のカセットテープは2000円(送料込み)です。事務局(0797・22・6425)までご連絡下さい。

(関西日本サイ科学会会長

河野明夫)



第三百八十五回関西日本サイ科学会研究集会報告

巨地上絵発見でわかった世界文明の『起源は日本』だった!

講師 上森 三郎氏

とき 平成26年2月15日

ところ 大阪科学技術センター

上森三郎氏は1954年、熊本

県芦北郡芦北町生まれ。建築業界歴30年で一級建築士。シックハウス(化学物質過敏症)の研究から、水の活性化こそが重要であること突き止め、流体の活性化装置『ネオガイア』『テラファイト』を開発し、日本、アメリカ特許取得。多数特許取得するなど発明家でもある。



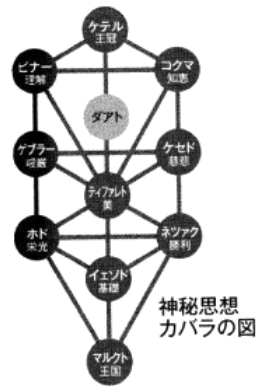
現在は身体そのものに関心を寄せているが、隠された日本と世界の真実を解明すべく、神社仏閣を参拝しながら、兵庫県植丘の里の山々を中心に探索中。『かごめかごめを研究する会』会長。

上森氏は3年ほど前、『テラファイト』という、レアアースや特殊な貴金属などを使った脳波をリラックス時に生じるα波に誘導できる装置を声なき声の指示で作らされたという。それ以来、何者かに操られているような、ワクワクするような、自分が自分でないような不思議な出会いやメッセージが聞こえる経験をするようになった。この装置についての科学的立証を、元九州大学の高尾征治工学博士にして頂いた。

メッセージの相手はこの大宇宙を司っている神・創造主から受けている感じがするという。その神は一生懸命出会いを作ってくれ重要なポイントを指示し、関西から九州の方まで地図上に図形を描かされ、行き先の場所を具体的に示される。

上森氏が描かされた100枚を超える正三角形、二等辺三角形のほか十字架やダビデのマーク、そしてイスラエルの伝統の神秘思想のカバラ(生命の樹)「資料1カバラの図」の図形上に、神社仏閣や山岳信仰として著名な山々の位置が符合する。古代に衛星写真による地図を持っていたかのような正

確さで、これらの所在がピタリ一致してくるのだ。



しかも、この兵庫県を生野町、神戸町を中心に三重県伊勢地方から近畿、中国、四国、九州まで西日本一帯の広大な規模のカバラの巨大図形が浮かび上がった。

こうしたピタゴラスの定理を知り、カバラの秘法を知り尽くしていた民は誰なのか。この三角法で国造りをした民は誰なのか。

一本目の十字架の交点にあたる兵庫県山南町の山頂をGoogleマップで調べたら山が人の顔に造形されておりそれが古代エジプトの女神である『ハトホル』であることがわかった。

次に描かされたのはこのカゴメ紋の中の黄金比の十字架だった。その次が直角二等辺三角形だった。

兵庫県にきれいな十字架が現れた。十字架の交点は、高砂市の群の巨石とされる生石神社の『石の宝殿』である。この十字架の交点があった石の宝殿は平安京のカバラ(生命の樹)の王冠にあたり、巨石の向いている方向はきつちり奈良の神武天皇を祀る橿原神宮を指し、そしてまったく反対側に鳥根県の出雲大社がある。

さらに今でも女人禁制の大峰山山上ケ岳の大峰山寺、論鶴羽山、善通寺を通って貴峰山を底辺とする直角二等辺三角形も描け、この45度の頂点が生野である。生野から生石神社を通って論鶴羽山、そして徳島の伊島までが縦のラインである。

六甲山の石の宝殿から高砂市の石の宝殿を通って、赤穂市天王山への線が横ラインで、縦と横のラインの比率は黄金比である。

女神ハトホルの巨大地上絵を発見してからは、兵庫県の多可郡多可町から小山を利用した魚の造形、兵庫県朝来市からは全長5mほどの鶴と亀、おなじく兵庫県生野町から龍をかたどった巨大地上絵が見つかった。

これらの巨大地上絵は当初描か

された一本目の十字架のライン上に次々見つかった。いずれもGoogleマップから発見できたものだ。むろんのこと、この巨大地上絵は上空からでしか判別できないのだ。いったい誰が何の目的で作ったのか。

このカゴメの唄を解読すると、籠の中のとりは、鳥の『と』と、籠の『り』で、鳥は鶴である。後ろの正面の向こうには龍が作られている。場所は段ヶ峰の山頂である。

段ヶ峰はダン族のミウネ(お墓)ですね。ダン族はイスラエルの失われた一〇支族と言われ、蛇がシンボルで、『ダン族が王を守護するという決意』を表しているのです。それでダンガミネ……段ヶ峰ですね。

ちなみに千ヶ峰はヘブライ語で、トセー ガド ウイツシュ ミウネで、『殉教者を持ち帰り祀ったガド族のミウネ(お墓)』の意味となるのです。

鶴と亀や、女神ハトホルなどの巨大地上絵の場所を、地図上のベインチマークポイントからキツチリと教えてくれている。

まずは伊勢の青峰山から千ヶ峰トライアングル(千ヶ峰、玉置山、

剣山の正三角形)の千ヶ峰と、その先の段ヶ峰まで線を引く。

次に、奈良県の大峯山山上ヶ岳から淡路三山の最高峰、論鶴羽山へ線を引き、そこから直角に北へ直角二等辺三角形の地点が鶴と亀の巨大地上絵がある生野町となる。

また、大峯山山上ヶ岳から淡路三山で2番目に高い、柏原山へ線を引き、そこから直角に北へ直角二等辺三角形の地点が女神ハトホルの場所、丹波市山南町五ヶ野となる。

さらに、大峯山山上ヶ岳から淡路三山で3番目に高い、先山へ線を引き、そこから北へ線を上げるのと、ハトホルの場所へ行き着く。

再度、大峯山山上ヶ岳から高砂沖の上島(神島)へ線を引き、直角に北へ線を引いて、天橋立にある籠神社まで延ばすと……十字架ができる。十字架の交点に女神ハトホルが見つかる。すべて、大峯山山上ヶ岳から設計されていることがわかる。

そして、伊勢神宮の近隣の青峰山から上島へ線を引き、直角に北へ引くと、生野町へピタリと行き着く。どうして伊勢神宮を現在の場所に決めたのかキツチリと教え

てくれている。

実は、この上島は大正時代、大本教の教祖となった、出口王仁三郎が重要な地点として神事を行った場所だったことがわかった。この上島にも何かあるのかもしれない。

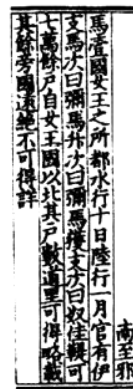
この巨大地上絵の大きさは、2kmから5kmにわたる山を利用し、造形されたものだ。

2011年1月生野町にある鶴と亀がキスしている巨大地上絵がある地点を特定し、穴掘りを開始した。それから数日後、なんと、鶴と亀、いや見る場所によって鶴にも見える、亀にも見える二畳ほどの大きさの不思議な岩の造形が見つかった。岩から突き出た部分が亀の顔になっている。しかも、乾燥しても亀がいつも涙を流しているように作られているのだ。

啓示を受け、魏志倭人伝の記述をベースに邪馬壹国の境界国をネットで調べ、その境界線をなぞったところ、邪馬壹国とは但馬、丹後、丹波、摂津、大和にまたがった国土であることがわかった。

そして、その邪馬壹国の行財政を司る主都は大和の纏向であったが女王卑弥呼がいたところは、『播

磨国風土記』に書き記された埴岡の里、現在の兵庫県神埼郡神河町と朝来市生野町にまたがるエリアであった。



その邪馬壹国の聖地へのルートは、現在の釜山あたりから船で対馬へ、それから壱岐を通って西の鎮の地、鎮西に福の神様を呼び込んで(呼子)、そこから陸路で福吉(前原)、そして福岡、福津(津屋崎)へと宝物を運んでいった。

卑弥呼は埴岡の里を中心に近畿、四国、山陰、山陽を支配していた豪族らに担がれ、邪馬壹国の女王となったことを上森は明らかにした。

邪馬壹国の女王卑弥呼がいた場所は埴岡の里であり、永遠の眠りについている場所もまた埴岡の里である。神埼郡神河町、こここそが倭国のまほろばなのである。

出雲と卑弥呼と伊勢神宮の関係、

そして邪馬壹の真相を、天照主大神様がきつちりと教えているようです。もう天皇家も含めて、このわが国の本当の歴史を、国民に、そして全世界に知らしめなくてはなりません。太古の昔、我が国の天皇が世界のスメラミコト(天皇)だった時代が存在したことを。今後、東経134度に位置する兵庫県の神埼郡神河町や隣接する朝来市生野町にまたがる埴岡の里が世界の聖地となるのです。

☆ ☆

『邪馬壹国』、『邪馬臺国』、『邪馬台国』について

「魏志倭人伝」は三世紀末に西晋の陳壽に書かれ、それには「邪馬壹国」と表記されている。「資料2 魏志倭人伝」このあと五世紀に南北朝時代の南朝宋の時代で編者范曄(はんよう)により書かれた「後漢書」には「邪馬臺国」とある。『邪馬台国』の通称は、「邪馬臺国」の「臺」の字を、「台」をもって代用したものである。現在「邪馬台国」は一般に「やまたいこく」と読まれる。この「やまたいこく」という読みであるが、これは二種の異なる

「オーブ」の撮影とその性質

佐々木 茂美

1. 「オーブ」の撮影

半導体 (CCD) 内蔵のデジタル・カメラを用いて、電離していると考えられる空間にむけてフラッシュ撮影する。すると乳白色小円状のオーブ (たまゆら) が、ノイズとして写り込んでくる。条件さえ選べば、誰にでも写す事が出来る。

(1-1) 物質的な条件

宇宙線や地表面上の放射線などの影響により、空気構成成分の若干が電離して大気陰イオン、大気陽イオン、電子になっている。さらに、これらが空気中のエアゾール (微細粒子) 等と結合して、大気陰陽イオン・ボールが形成されている。朝方並びに夕方の薄暗く、湿度の高い (陽イオンがある) 空間、並びに人々が集まるエネルギーの高い場所 (祝い事、お祭り、パワースポット等) で写り易い。近赤外線領域 (780nm ~ 1.5 μ m) が写せるデジタル・カメラを用いて、フラッシュ撮影 (1/1000sec) するとよい。写らない場合には、繰り返して撮影するとよい。

(1-2) 意識的な条件

お願いすると写る場合がある。また、オーブは意識と情報交換していると判断出来る場合がある。雑念を捨てて (無心で)、集中して (熱心に) シャッターを押す。予め瞑想法等を試行して、より低周波の脳波 (EEG) が出せるようになった人ほどオーブが写り易い、と判断している。つまり実験系に意識 (ASC、無意識) 加入しているといえる。しかし、どうしても写らない場合もありうる。以上の実験結果の結論として、

(1) オーブの出現は、マクロPK (マクロ念力) 現象である。多くの実験結果から、

(2) 意識と体外にあるオーブ (物質) との間を仲介するのは、サイ (気) {素粒子群} である、と判断できる。さらに、

(3) オーブ出現には、未知の存在 (SG) の助けが必要である、と考えている。

(1-3) 実験結果

一例を写真1~4に示す。写真1~2はオーブの核の生成以前の場合で、オーブ内部に模様が無い場合 (省略)。写真3~4は核成長 (カオス) 以後で、内部に模様 (表情) がある場合 (省略)。

2. オーブの性質

オーブはマクロPKなので、オーブの出現には、撮影者の意識 (ASC、無意識) が関係している。意識とは「気づく」とか「相手に注意を向ける」等を意味しており、時間的、空間的に非局所的である。実は、この意識の母胎には無意識があり、無意識の根底には、さらに個人の心身の作用を超えた集合的、先天的、元型的な層がある (ユング) という。実験から判断すると、マクロPKに関与するのは、変性意識状態 (ASC) や無意識 (集合的、元型的) であり、意識的な努力は、むしろ、出現阻止に作用する傾向がある。

別報で述べたが、オーブの核は、エネルギー一定条件で形成されている。マクロPKの場合に意識と物質の間を仲介するのは「サイ (気) {素粒子群}」である。他方、素粒子は量子力学で記述されており、波動性と粒子性の2面性を併せもっている。つまり、素粒子 (光) は波であると同時に粒子でもある。さらに量子力学の基本には、位置とその運動量は近似的にしか知り得ない、という不確定性原理 (1924、ハイゼンベルグ) がある。

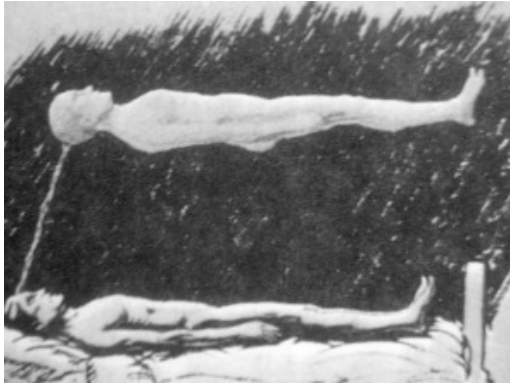


図3 魂の緒

人が亡くなる時に頭頂部から煙のような霧状のモノ(魂の緒)が抜ける“魂断ち”という現象が起きる。魂の緒は命そのもので、この緒が切れると死に至るといわれている。いわば人間の生と死を分けるものが魂の緒でシルバーコードとも呼ばれているものである。

私ごとだが、母親の臨終の際に、娘が母の頭から霧状のモノが抜けるのを見たという場面が印象に深い。この種の霧状のモノもオーブと関連があるように考える。

東日本大災害で壊滅した街や海辺では、時々多数浮遊するオーブが写真に写ることがある。これらのオーブは突然の津波にのみこまれて亡くなった人たちの霊魂だと思われる。



写真6 霧状オーブ

現時点(2014-1/10)での震災による死者・行方不明者は18,524人、さらに震災後関連死した人は2,973人に上り、福島で直接死した人の数を上回るようになった。



写真7 被災地のオーブ

これらの方々の霊魂は早く真の救いと苦しみからの解放を望んでいることだろう。

各地の被災地では慰霊碑が建てられ、故人を鎮魂する行事が行われているが、御魂の成仏安穩を願い、遣された人たちにも一日でも早い心安らかな日々が訪れるよう望まれる。



写真8 被災地での鎮魂と上空のオーブ

犠牲となられた方々の御霊の安らかなるご冥福を心からお祈り申し上げます。(終)

*参考文献

- (A)「脳と心」小野瀬健人 かんき出版
- (B)「脳と心」“無意識と創造性”NHK



写真3 大脳活動の測定

(実験方法)

被験者には写真を見せ、大脳皮質のどの部位に反応が起きるかを測定する。実験に使用する写真は5枚で全て風景写真のように見えるが、その中の1枚に殺人事件の現場跡の今では単なる風景に見える写真を混ぜてある。被験者には1枚ごと写真を見せ、その大脳の血流の働きから、特に後頭葉の視覚野のイメージの動性を測定した。

(実験の結果)

一般の被験者は、特にイメージ反応はさほどの変化を生じないが、霊視能力者では問題の写真を見るなり、後頭葉の視覚野にイメージの顕著な反応があった。やはり能力者には、写真から何らかの情報を得て、連続的にイメージ映像が脳に浮かび、視覚として視えていることが判明した。

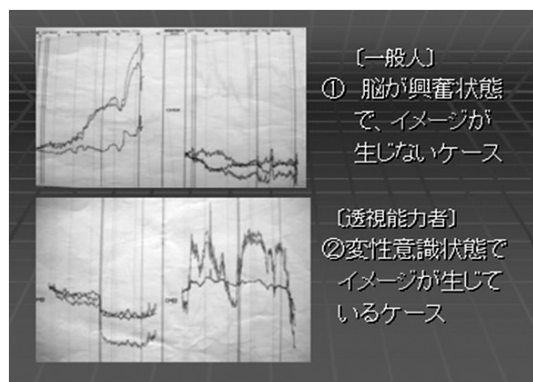


写真4 一般者と能力者とのイメージ測定

優れた霊視能力者の霊視は、五感を越えた外界や内界から意識体(霊)を通して、何らかの情報やメッセージを感受して、イメージ(知覚心像ともいう)に想起が起こり、視覚化されるものとする。時空を超えてイメージによる視覚化から、過去、現在、ときには未来(予知)まで視えることが可能なのかも知れない。

V 霊姿現象とオーブについて

私論だが、オーブは霊体、幽体だと考える。オーブの形状は主に球状のものが多いが、球状のオーブが写った場所で、時には瞬時に霧状のモノがしばしば写真に写ることがある。

球状のオーブと霧状のものとは、同じオーブだと考えられる。なぜなら、オーブは通常、人の目では見えないが、フラッシュを照射した写真には、霧状のものと同じ空間に球状のオーブが混交して写ることがあるからである。

私は(財)日本心霊科学協会内で「鏡視」という実験室を設け、愛しい故人との再会を希望する人たちが、他界した懐かしい人と会えることが出来るのか、という実験を行った。方法は6畳ほどの薄暗い部屋(15W)に大きな鏡を設け、その鏡をジーっと見つめていると鏡にその故人が現れるというものである。約30名ほど実験を試みたが、その内の約半数の人が、煙のような霧状のモノとか、球体のもの、時には光を視たとの証言もある。中には亡き母親と再会でき、言葉を交わして涙ぐんだ人さえいた。その様子は暗視ビデオで撮影した。オーブや霧状、光なども写真に撮れた。やはりオーブは意識体という印象を持つ。



写真5 鏡視とオーブ

一方、「亡き人に一日会いたい」という強い人の想念が霊の念の波動と同調した時、霊姿を目撃するケースがある。また優しい人柄や慈悲深い人なども霊に感じ易いとか。霊姿を見たり、声を聞いたりすることがあるようだが、霊に頼られ易い。何時までもあまり悲しみの想いを持ち続けていると、霊は現世に未練を残し幽界に残留して、先の霊界に進めないこともあるので、亡き人たちへの追慕の念もほどほどが大事だと言われている。

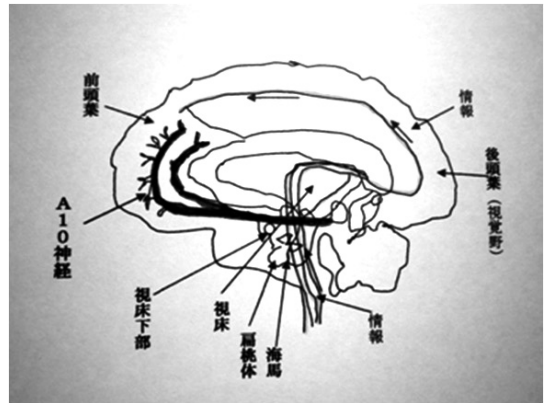


図2 脳内のA10神経

Ⅲ 霊視のメカニズム

(通常の視覚情報伝達のシステム)

人が外界のものを目で見た情報は水晶体というレンズを通して網膜に映し出される。ここには視細胞があり、その情報は電気信号に変えられ視神経を通して、右視野の信号は左半球に、左視野の信号は右半球の脳に送られる。次に視床というところで情報は整理され大脳皮質の視覚野へと入り、色、形、明度などの情報を分析してモノを認識している。(A)

(霊視能力者の視覚システム)

スピリチュアル研究の立場でいえば、霊姿現象は脳内の錯覚や幻視ばかりではなく、外界の情報(霊=意識)を超感覚的知覚(ESP)あるいは霊的能力によって脳内で視覚化されると考える。

霊視能力者は肉眼でも閉眼でも霊視できるというが、多くは外界の情報を両眉の間の“第三の眼”(チャクラ)でキャッチされるようだ。その情報は電気信号に変えられ光波、磁力を感知する松果体という器官(透視能力の関連器官?)に入り、情報の関所といわれる視床に送られ、脳神経の回路(A=10神経)を通過して伝達物質であるドーパミンを放出する。そして連合記憶領域から後頭葉の視覚野に送られ電気信号に変えられた情報があたかもバーチャル・リアリティ(仮想擬似映像)のように次々イメージ像として想起される。松果体は思春期以降に退化するが、人により退化せず直観、予知、透視能力が授かる人もいる。

最近の脳内機器の急速な進歩により、今までブラックボックスだった脳の働きにも光が当てられるようになった。特に特異能力で注目するのは、古い皮質から延びている快感中枢にある「A10神経」である。

「A10神経」はドーパミンの流れを制御する働きがあり、薬物や過度の脳内刺激を受け制御が外れると、「A10神経」からドーパミンが多量に放出され常軌を逸した行動をとるようになる。

極度の苦痛や生死をさ迷った体験者とか、重篤の病気や災害や事故で意識を失い臨死体験をした人などは、その際に脳内の制御がはずれ苦痛を和らげるために「A10神経」から自動的に大量のドーパミンという脳内麻薬物質が放出され、それが一種の刺激剤となり、深い意識から特異能力が授けられるとの説もある。(B)

Ⅳ 大脳皮質の活動について

内外の霊視能力者、瞑想者、霊媒者や一般者等の大脳活動について、病院の脳神経外科の協力を得て「光トポグラフィー」測定機を使用し、1年余(23回)実験測定を行った。「光トポグラフィー」は、視覚、運動などの神経を司る大脳皮質の活動を頭皮の外から赤外線を照射し、血流のヘモグロビンによる神経活動をリアルタイムで計測、コンピュータと連動した測定機器である。

(3) 磁力による幻覚説

鉱物には岩石磁力 (rock magnetism) という、主に残留磁気を含む岩石があるという。

火山が噴火して地上で固まった溶岩や海底に沈殿した土砂の中には磁気を帯びた粒子があり、磁鉄鉱を含む花崗岩などもその類である。これらの岩石から発生する磁力の乱れが、人間の脳の神経回路を流れるイオンの微弱な電流に作用して、思考に乱れを生じさせ幻覚を引き起こすという説である。だが、この説も被災地の浜辺では、人に幻覚を及ぼすほど強い磁力の影響があるとは思えない。海岸の補修作業をしている人たちは、いつも幻覚を引き起こさねばならない理屈になるだろう。

(4) 電圧効果幻覚説

カナダのローレンシア大学のマイケル・パーシガー博士の実験によると、脳に電気刺激を与えると、右脳左脳の役割分担が崩れ、体外離脱や神秘体験、幻覚などが起きるといふ説がある。

あるテレビ番組では、幽霊の目撃者が多いという兵庫県の六甲山で実地実験を行った。その結果、地下深くに密集する断層の「圧電効果」による地磁気の乱れから、脳の側頭葉の神経細胞に異常な電圧が生じて、幻覚、幻像が生じたという。いわば自然界で生じる磁気干渉が、あたかも霊姿目撃の幻像を起こすという論拠である。この説は一見科学的根拠を示しているかのように思われる。

この東北の巨大地震は、確かに海底の活断層の変動により、地磁気が乱れ脳に幻覚を生じ霊姿目撃者が多いと考えられ無くはない。とは言え、被災地では、誰しものが幻覚を見る訳ではない。霊姿目撃の要因は他にあると考えている。

その他に幻覚、幻視は統合失調症や薬物中毒者にも見られるが、被災地における霊姿目撃には、それを除外する。

II 霊姿現象についての考察

目撃証言は次のように様々である。

- ・日没頃に瓦礫の中で小さな女の子が親を探しているような姿が視えた。(瓦礫撤去の作業員)
 - ・夜に津波で瓦礫となった車の中を覗いて歩く子供連れの女性が現れた。(宗教家)
 - ・死んだ従兄弟が焼け跡にいた。(会社員)
 - ・夜に老夫婦の亡霊が歩道に立っていた。(警備員)
 - ・夜に仮設住宅でおじさんを視た。(親族を津波で亡くした10代の女の子)
 - ・夜中に一人の女性が手を挙げるので車に乗せて走り始め、しばらくして後を振り向くと誰もいなかった。(タクシー運転士)
- 等々、まだまだ目撃談も様々ある。

(霊姿の目撃場所)

- ・津波の被害があった浜辺
- ・津波にあった家や車の瓦礫の中
- ・津波で流された墓地
- ・非難場所の丘の途中道路
- ・仮設住宅
- ・市街地の銀行、商店街 等々

(場所での因果関係)

筆者は、優れた霊視能力者の同行を得て、関東近県の20か所で霊姿目撃と場所との因果関係の調査、検証を行ったことがある。

自殺、心中、殺人現場、墓地跡、処刑場跡、ダム、トンネル、沼地、湖、他に戦災地、震災地などである。いずれも非業の死を遂げた場所である。不条理に死んだ人々の無念さは、その場に霊の念が残留すると言われている。成仏できない自縛霊や浮遊霊という未浄化霊が幽界に留まるという。成仏できない霊が供養成仏を願って出没したり、また魔の踏切、魔の交差点と呼ばれる事故多発地点では、人を引き込む邪霊などが霊視できるという。

被災地で霊姿現象を考察すると、突然の事態で未だ死を自覚できずにいる犠牲者の霊(意識体)が供養成仏を願って、その場にいる人の波動と同調したとき、霊姿を見せるのではないかともいわれる。

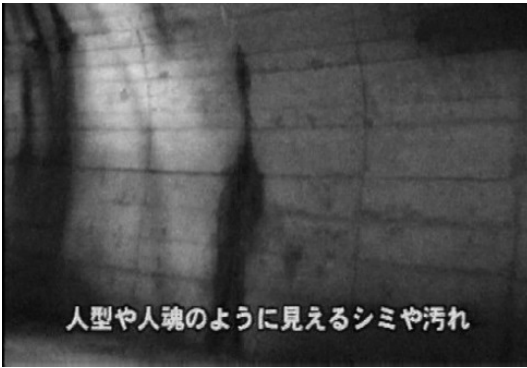


写真1 パレイドリア (pareidolia)

被災者の肉親が津波で亡くなり、家の中で愛する肉親の霊姿を目撃するケースなどは、会いたいという感情が募って何らかの陰影に錯覚することはあり得ない話ではない。だが、愛する家族と再会したいと念じて、仮にその人の姿が視えたとするならば、恐怖心による目の錯覚とは考え難い。

(2) 暗示幻覚説

肉親が臨終の際に枕元に立つという話はよく耳にする。眠気を催し微睡状態になると非暗示性が亢進する。半分目が覚めて周囲の状況を大体把握しているのに、生々しい現実感、恐怖感がともなった夢を見ると、幻視や幻覚が生じるという説がある。

催眠暗示による霊視の再現実験を試みた。霊姿目撃のない被験者(女性)に催眠をかけ、術者が「霊が見えます」と暗示を与え、再び後催眠暗示により目を開けさせ「目の前に霊姿が見えるか」という実験である。



写真2 催眠暗示幻覚実験

その結果、確かに実在しないのに「霊姿が見える」という。いわば夢見の浅い意識低下状態(トランス)では、普段は意識に上らない潜在意識の記憶情報が幻視を生じさせるのだという。従って、脳内の潜在意識がつくり出した暗示幻覚説はあり得ないことでもない。

とは言え、この説だけで全ての霊姿目撃が論証できるとは思えない。

さらなる検証として、霊視能力があると思う一般女性(40代の主婦)による霊視実験も試みた。場所はある公園の広場であるが、女性はその場の因果を知る由もない。実は鎌倉時代の“合戦の場”で、今は自殺者の霊が出るという噂高い場所である。ここで視えたこと、感じたことを報告してもらった。だが意外にも被験者は「ここは合戦に負けた武士の処刑場で、いま群衆が木立から覗き込んで見ている」という。視える状況を絵に描いてもらったのが下図である。



図1 処刑を取り囲んで見る群衆

後日、郷土史家に訊くと、まさに女性の霊視通りであった。因みに、その場所の案内書には昔の事実は何も記載されていない。霊視は時空を超えている。

先のように、嫁ぎ先の娘の夢枕に父親が現れたケースは、まさに臨終時と同時刻だったという話もあり、全て幻覚説だとする論拠にも無理がある。



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

霊姿現象について

小林 信正

多数の命を奪った東日本大震災から三年目。突然大切な人を失った人々の悲しみの思いは、今も変わりなく募らせる。被災地では、「霊を見た」「行方不明の母さんと再会した」「浜辺で歩く大勢の亡霊を見た」、さらには行方不明の肉親が「早く見つけてくれ、埋葬してくれ」と枕元に現れたという。今も2,636人が行方不明になっており、その家族の心の中では、生き続けていることだろう。こうした被災地での様々な声をテレビ、新聞が報じた。

2013年夏、NHKスペシャル「亡き人との“再会”」では、生々しい霊姿の目撃証言などの声を放送、大きな反響を呼んだ。好意的意見も多く寄せられたが、それとは裏腹に怪談や迷信、オカルトだとか、科学的に実証されていないものをなぜ取り上げるのか、との批判的な声も聞かれた。唯物論的な思考しかできない偏狭な人たちは、霊姿目撃などあり得ず非科学的なことと一笑に伏されるであろう。

しかし霊姿目撃の事例は、国籍、人種、宗教、教育、年齢を問わず多数報告されている。

現実を直視せず非科学的だと頭から否定することこそ思考停止と言わざるを得ない。

人は誰でも必ず死ぬ運命にある。然るに“死後の存続”の究明は“生と死”の意義を考える証ともなる。災害をきっかけに事実を収集して真実を究明し、亡き人の声に耳を澄まして、遺族の方々の“心のケア”について考えるのも意義ある事だと思う。

I 霊姿現象の諸説について

霊姿現象とは、生霊や死霊および近似死状態、臨死体験において霊の姿を目撃する、いわゆる幽霊譚に見られる広義のゴースト現象をいう。

地震、津波で突然最愛の人を失った家族にとってはその事態を受け難く、その人々の悲痛な感情は今も計り知れないものがある。心の中で処理されない多くのさまざまな感情は霊の投影との見方もできよう。だが霊姿の目撃者は被災者とは限らない。地域以外の人たちの中にも目撃者は存在する。ただし、現実に見たモノが事実であっても、事実と真実とは違う。錯覚や幻覚、幻視などもあり得る。霊姿目撃は真実なのか。死後も霊魂は存続するのか…霊姿現象に関する様々な仮説から考えてみたい。

(1) 目の錯覚説

“幽霊を見たり枯れ尾花”といわれるように、心理的な恐怖感からの誤認や錯覚する事を精神医学用語ではパレイドリア(変像機能性幻覚)という。古壁のしみや木陰が顔や姿に見えたりするように見間違ふことだが、対象物に対して誤った感覚や認識を得るのが錯覚であり、存在しない対象物を存在すると見なしてしまう幻覚とは区別される。